

# 病害虫発生予察注意報（第4号）

令和5年10月13日  
神奈川県農業技術センター

病害虫名：オオタバコガ

作物名：野菜類、花き類

1 発生地域：県下全域

2 発生量：多

3 注意報発令の根拠

- 当所病害虫防除部が三浦市、横浜市及び伊勢原市に設置しているフェロモントラップへの雄成虫誘殺数が全ての地点で9月下旬に急増し、平年より多く推移している（図1～3）。三浦市と横浜市では、9月第1半分から10月第1半分の誘殺数が1996年以来最も多くなっている。伊勢原市では9月第5半旬に誘殺数が急増し、9月第5半旬から10月第1半旬の誘殺数が203.2頭と平年（97.6頭）の約2.1倍となっている。
- 県予察ほ（三浦市）では、フェロモントラップへの雄成虫誘殺数が9月第5半旬以降、平年より非常に多く推移しており（図4）、9月第5半旬から10月第2半旬までの誘殺数は525.0頭と平年（33.9頭）の約15.5倍であり、2004年に調査を開始して以来最も多くなっている。
- 気象庁が10月5日に発表した向こう1ヶ月の気象予報は、気温が平年並か高いことから、次世代幼虫の発生に好適な条件である。

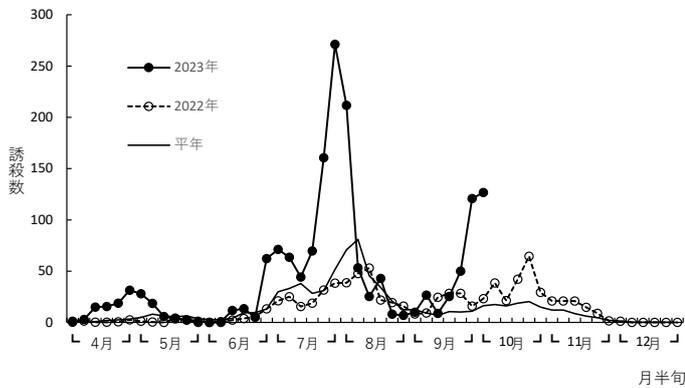


図1 フェロモントラップへのオオタバコガ雄成虫誘殺数の推移（三浦市）

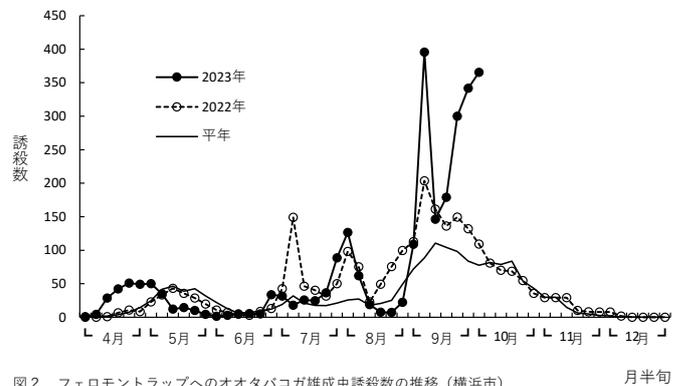


図2 フェロモントラップへのオオタバコガ雄成虫誘殺数の推移（横浜市）

月半旬

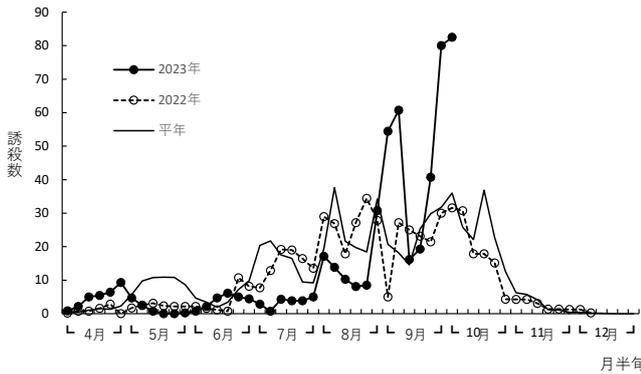


図3 フェロモントラップへのオオタバコガ雄成虫誘殺数の推移（伊勢原市）

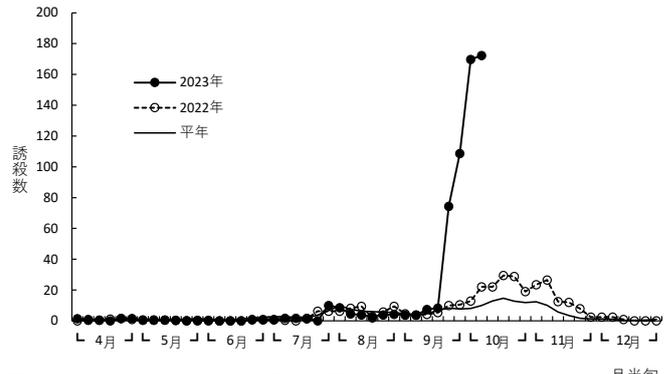


図4 フェロモントラップへのオオタバコガ雄成虫誘殺数の推移（県子寮は（三浦市））

## 4 被害と生態

広食性で多くの作物を加害する。若齢幼虫は新葉や蕾、花、幼果に潜り食害するが、肥大した果実には潜らない。中齢以降の幼虫は、花、果実、葉の各部を食害し、キャベツやハクサイ等では結球部に、ブロッコリーやカリフラワー等では花蕾部に潜り食害する。幼虫は共食いが激しいので、結球部や花蕾での寄生は1頭の場合が多い。

## 5 防除対策

- (1) 幼虫は結球部や花蕾等に潜り食害するため薬剤がかかりにくい。また、幼虫の齢期が進むほど薬剤感受性が低下するため、ほ場をよく観察し、寄生や被害を確認した場合には直ちに薬剤防除を行う。各種作物のオオタバコガに適用のある防除薬剤例を表に示した。なお、農薬使用の際は必ずラベルの記載事項を確認し、使用基準を遵守する。

表 防除薬剤例（2023年10月11日現在の農薬登録情報に基づく）

薬剤名	IRAC コード	農薬登録の有無						
		キャベツ	ブロッコリー	カリフラワー	ハクサイ	レタス	非結球レタス	花き類・観葉植物
ディアナSC	5	○	○		○	○	○	○
アニキ乳剤	6	○			○	○	○	
アフーム乳剤	6		○	○		○	○	○
アフームエクセラ顆粒水和剤	6+15				○	○	○	
カスケード乳剤	15	○				○	○	
マッチ乳剤	15					○	○	
ファルコンフロアブル	18	○				○	○	
アクセルフロアブル	22B	○				○	○	○
フェニックス顆粒水和剤	28	○			○	○	○	○
プレバソフロアブル5	28	○				○	○	
ヨーバルフロアブル	28	○			○	○	○	○
ブロフレアSC	30	○	○*	○*	○	○	○	
プレオフロアブル	UN	○			○	○		○
BT剤	11A	野菜類でオオタバコガに適用があるものは、エスマルクDF、トアローフロアブルCT、チューンアップ顆粒水和剤、エコマスターBT、ゼンターリ顆粒水和剤（ハクサイを除く）等						

※）はなやさい類に適用あり。

- (2) 抵抗性を発達させないために、同じ系統の薬剤は連用せず、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。
- (3) 施設栽培では開口部を防虫ネットで覆い、成虫の侵入を防止する。

神奈川県農業技術センター 病害虫防除部  
〒259-1204 平塚市上吉沢1617  
TEL 0463-58-0333 FAX 0463-59-7411  
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/cf7/cnt/f450002/>